

# 2

環境と共生できる人づくり

## 太陽光発電システム設置費用を補助

市では、地球温暖化防止を推進するため、保育園・幼稚園が新たに太陽光発電システムを設置する際の費用の一部を補助しています。詳しくは環境創造課 ☎6489・6301へ。



太陽光発電を身近で体験する機会を

東園田町にある猪名の森保育園では、昨年12月に太陽光発電システムを導入しました。園長の長瀬数子さんは「導入を検討した当初は、コスト面での課題などが問題として挙がりましたが、子どもた

ちが太陽光発電を身近に見て得るものの方がはるかに大きいと判断し、導入に踏み切りました。子どもにも分かりやすくするため、発電量を表示し、発電量に応じて、花が開くパネルも設置しています。

「二日のうちでも、太陽の位置によってお花の開き方が違うね」と子どもが発見したのはうれしい驚きでした」と話します。

同保育園では、自然環境や生物に関する知識を子どもたちに伝える「こども環境管理士」の資格を職員が取得したり、地域の自然を子どもたちに感じてもらうため、市民活動団体「自然と文化の森協会」のメンバーとともに、猪名川自然林へ自然観察に行くなど、従来から環境教育に力を入れてきました。特に東日本大震災後は、「電気を大切に

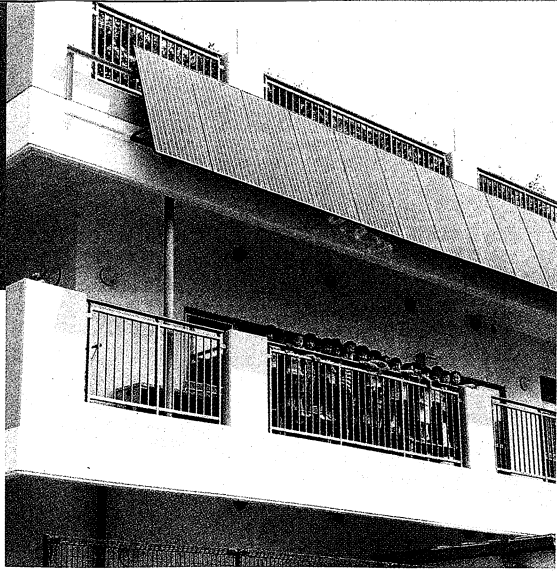
に使おう」という意識が保育園の中でも高まり、太陽光発電システムの導入につながったそうです。

### 家庭にも波及効果

同保育園では、地球温暖化や太陽光発電についての知識を深めようと、職員全員が研修を受け、さらに子どもたちが理解しやすいように紙芝居を使って伝えました。

また、保護者を対象に太陽光発電システムの説明会を開き、太陽光発電の仕組みなどを解説しました。

保護者の皆さんは、「屋根に太陽光パネルを設置すると室内の温度が大きく下がる」という説明に熱心に聞き入っていました。今後、教育の現場から家庭へ、環境に対する意識の変化が広がっていきそうです。



建物の側面に取り付けられた太陽光発電パネル

### 猪名の森保育園に通う田代さん親子に聞きました 太陽光発電システムが導入されて 家庭で何か変わりましたか？

テレビで太陽光発電システムの映像が流れると、悠華が画面に見入るようになりました。保育園で導入されたことで、環境問題をぐっと身近に感じるようになったみたいです。

子どもの意識が変わると、大人もとても触発されます。最近では、夫が電気をつけっぱなしにしていたら、悠華が消してくれるようになりました。子どもの目って意外と厳しいですから、模範にならないと、と思いますね。テレビは見るときだけつけるなど、エコな生活をすると家計にも優しい結果になって驚いています。



田代久美子さん  
の娘  
悠華さん